

【認知症×クリエイター】 RUN伴(RUN TOMORROW)プロモーション映像&Webを公開



NPO 法人認知症フレンドシップクラブ(以下、DFC)(*1)は、このほど、新進の映像制作企業 EXIT FILM inc. (*2)、日本イーライリリー株式会社(*3)らとともに、認知症の人や家族、支援者、一般の人がリレーをしながら日本全国を1つのタスキをつないでゴールを目指すイベント『RUN 伴(RUN TOMMOROW)』(以下、RUN 伴)(*4)のプロモーション映像および Web サイトを制作しました。本日より日本語版・英語版を Web 上で公開いたします。

RUN 伴は、すべてのまちが、認知症になっても安心してらせるまちとなることを目指す DFC の活動のひとつです。

RUN 伴は、2011 年の函館-札幌間(300km)から始まり、2015 年には北見(北海道)-大牟田(福岡)間の約 3,000 km を 8000 人が参加・応援をしながらたすきをつなぎました。

今回、公開する映像および Web は、RUN 伴の活動をより広く多くの人に紹介するために、認知症当事者の方・家族・周囲の人々と、新進のクリエイターたち(映像制作・Web サイト制作・音楽制作・CG 制作等)が協力して制作したものです。

今回の公開にあたり、都内の映画シアター(池袋ヒューマックスシネマ)を貸切り、舞台挨拶を含む公開記念イベントも実施します。制作した映像およびそのメイキングフィルムを劇場で鑑賞しながら、映像制作に協力いただいた当事者の方々、これまで認知症とは関わりがなかったクリエイター側からの感想を共有します。

「認知症×クリエイター」をテーマにしたこのような形での映像/Web 制作および劇場公開イベントの開催は、国内では初めての試みといえます。

【公開 Web サイト URL】

<http://runtomorrow.jp/>

(制作著作:NPO 法人フレンドシップクラブ、EXIT FILM inc.、日本イーライリリー株式会社)

(制作協力:LETTERS, Inc.(*5)、[.que] / nao kakimoto (*6)、HERETIC, inc.(*7))

【公開記念イベント公開 Web サイト URL】

日時:2016 年 2 月 23 日(火) 13:20~14:30

場所:池袋ヒューマックスシネマ「シアター6」

内容:制作映像・メイキング映像公開、関係者舞台挨拶

主催:NPO 法人認知症フレンドシップクラブ(DFC)

協賛:EXIT FILM inc.、国際大学 GLOCOM(*8)、日本イーライリリー株式会社、株式会社富士通研究所(*9)、LETTERS, Inc. (あいうえお順)

【お問い合わせ先】

NPO 法人認知症フレンドシップクラブ <http://dfc.or.jp/contact>

※電話でのお問い合わせをご希望される場合はその旨上記ウェブサイトの連絡欄にご記述ください。

【注釈】

(*1) NPO 法人認知症フレンドシップクラブ(DFC): <http://dfc.or.jp/about>

代表理事、井出訓(放送大学教養学部教授)、本部、東京、2007 年設立。全国17カ所に事務局を持ち、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目的にしています。

(*2) EXIT FILM inc. : <http://exitfilm.jp/about/>

代表取締役、田村祥宏、所在地、東京、2014 年設立。シネマ(映画)表現にフォーカスした映像制作を手掛け、ドキュメントムービー・プロモーションビデオ・映画など様々なジャンルの映像コンテンツの制作を通じ、クライアントの課題解決や社会課題の解決と自らの作家性の追求を目指しています。LETTERS ら若手クリエイターと協力して制作したポートフォリオ作品”KUROKAWA WONDERLAND”海外で複数の賞を受賞しています。(映像関連受賞: Official selection in Paris Short Film Festival、Official Selection in Los Angeles Independent Film Festival Awards、Official Selection in Asian Film Festival of Dallas、Design of the Day in DesignAwards.Asia ほか) <http://kurokawawonderland.jp/>

(*3)日本イーライリリー株式会社: <http://www.lilly.co.jp>

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの子会社で、人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じて日本の医療に貢献しています。統合失調症、うつ、双極性障害、注意欠如・多動症(AD/HD)、がん(非小細胞肺癌、膵がん、胆道がん、悪性胸膜中皮腫、尿路上皮がん、乳がん、卵巣がん、悪性リンパ腫、胃がん)、糖尿病、成長障害、骨粗鬆症などの治療薬を提供。また、アルツハイマー型認知症、関節リウマチ、乾癬などの診断薬・治療薬を開発しています。

(*4) RUN 伴(RUN TOMORROW): <http://runtomojimdo.com/>

RUN 伴(ランとも)は、認知症の人や家族、支援者、一般の人が少しずつリレーをしながら、1つの櫂をつなぎ、ゴールを目指すイベントです。

(*5) LETTERS, Inc.: <http://letters-inc.jp/>

代表取締役 野間寛貴。東京を本拠地として活動する WEB 制作会社。世界で流行するデザインテイストならびに技術を取り入れることで、先鋭的なビジュアルにてサイトを制作することを得意としています。Awwwards、CSS Design Awards はじめ、各種 WEB アワード受賞しています。メンバー: Kenta Toshikura (利倉健太) / Misato Daikuhara (大工原実里) / Mikiko Kikuoka (菊岡未希子) / Lan Tanioka (谷岡蘭) / Nobuaki Honma (本間宣光) / Hiroki Noma (野間寛貴) (参考: <http://www.dreamnews.jp/company/0000004240/>)

(*6) [que] / nao kakimoto: <http://que-music.net/>

徳島県出身、東京都在住の音楽家・柿本直によるソロプロジェクト[que](キュー)。アコースティックギターを基調に、繊細なエレクトロニクス、柔らかく清涼感溢れるサウンドを特長とし、これまでに5枚のアルバムを発表。バンドルーツを感じさせる楽曲、パフォーマンスに魅了されるミュージシャンも多く、2013年にSCHOLEよりリリースされた3rdアルバム「drama」はフォークロニカの傑作として高い評価を得ています。

(*7) HERETIC, Inc: <http://www.hereticanthem.co.jp/>

代表取締役 下村 領。所在地、東京、2005 年設立。Web を主軸としたコミュニケーションデザインを創る少数精鋭のクリエイターチーム、ファッション・アパレルの EC ブランディング・広告系クリエイティブ・システム開発・アプリ開発など、クライアントとともに事業を創るスタイルで数々の幅広いクリエイティブを手掛けています。

(*8) 国際大学 GLOCOM: <http://www.glocom.ac.jp/>

国際大学グローバルコミュニケーションセンター(GLOCOM)では「認知症の人にやさしいまちづくりに関する研究」を進めています。高齢人口が急増する中、医療・ケアという伝統的な領域だけでなく、認知症の人の生活を取り囲む都市計画・交通・金融・流通・ICT など様々な分野での取り組みが必要です。そこで国際大学 GLOCOM では、「マルチステークホルダーx 社会課題中心アプローチ」というテーマを掲げ、その一環として認知症に関わる調査研究を推進しています。

<http://www.glocom.ac.jp/project/dementia/>

(*9) 株式会社富士通研究所: <http://www.fujitsu.com/jp/group/labs/>

富士通研究所では、認知症を含む社会課題に対応するプロセス検討を進めています。2013年に企業・自治体・NPOなどセクターを越えたネットワーク型の活動「認知症フレンドリージャパン・イニシアチブ」をNPO 法人認知症フレンドシップ、国際大学 GLOCOM など他の組織と連携して立ち上げ、認知症の課題を起点に未来を考えたさまざまなアクションを支援しています。